



資料提供年月日	令和4年5月24日	
問い合わせ先	課名	文化振興課
	電話	直通 803-1054 内線 3744
	担当 (職・氏名)	課長 岡村 副主幹 上林 主事 中桐

広報連絡 〈市長定例記者会見資料〉

- 1 件名 ユネスコ創造都市ネットワーク（文学分野）への加盟に向けた取組について
- 2 趣旨

岡山市は長年にわたり坪田譲治文学賞を核とする文学によるまちづくりに取り組んできました。

令和4年3月に市内の有識者の皆様から提出された「『文学による心豊かなまちづくり』の更なる推進に向けた提言書」を受け、このたび文学を活かした具体的な事業を検討する組織を設立して、ユネスコ創造都市ネットワーク（文学分野）への加盟申請を目指してまいります。

文学だけに留まらず、他の分野と連携し、産官学一体となった取組を推進していくことで、より一層地域への愛着や誇りを深めるまちづくりを目指します。
- 3 部会の開催 第1回「文学によるまちづくり部会」
日時：令和4年5月30日（月）15：00～16：30
場所：岡山市役所本庁舎3階 第3会議室
- 4 問い合わせ先
岡山市文学賞運営委員会事務局
〒700-8544 岡山市北区大供一丁目1-1 岡山市文化振興課内
TEL：086-803-1054 FAX：086-803-1763
E-mail：bunkashinkou@city.okayama.lg.jp

[添付資料]

- 資料① 「文学による心豊かなまちづくり」の更なる推進に向けた提言書
- 資料② 「ユネスコ創造都市ネットワーク」とは
- 資料③ 文学によるまちづくりの更なる推進に向けた組織の設立について
- 資料④ 文学によるまちづくり部会員名簿

令和4年3月30日

岡山市長
大森 雅夫 様

吉備路文学館 館長 明石 英嗣
おかやま観光コンベンション協会 会長 石井 清裕
岡山日販会 会長 長田 勝志
岡山商工会議所 会頭 松田 久
山陽新聞社 代表取締役社長 松田 正己
ノートルダム清心女子大学 教授 村中 李衣
吉備人出版 代表 山川 隆之
ノートルダム清心女子大学 教授 山根 知子

「文学による心豊かなまちづくり」の更なる推進に向けた提言書

岡山市は長年にわたり、坪田譲治文学賞を核とした様々な文学事業により地域の活性化に取り組んでいます。これは地方都市において、貴重な取組であり、全国に誇れる特筆すべき活動であります。

このような取組は、私たちが暮らすこの地域をより魅力的なものにし、市民の地域への愛着や誇りを深め、市民生活をより豊かにしていくことに繋がるものであり、「文学による心豊かなまちづくり」は、将来に渡って岡山市が積極的に担う重大な使命であると考えます。

こうした背景から「文学による心豊かなまちづくり」の更なる推進に向けた提言をいたします。

提言

1. 文学分野での歴史や先人の作品や坪田文学賞をはじめとした連綿と続く取組等の地域資源を活用し、「文学による心豊かなまちづくり」施策を一段と充実させること。
2. 国内外の他都市と連携して文化の交流を促進するとともに、「文化創造都市 岡山」の発信力強化を図ること。
3. その施策を検討・実行する組織体を整備し、産官学一体となった事業推進を行うこと。

事業の方向性

- 長年にわたる文学分野での取組を一層推し進める。
- 地域が有する文学にまつわる歴史や先人とその作品といった地域資源について周知・広報を行う。
- 福祉や教育、産業など幅広い分野で文学と繋がりをもった施策を検討・実施し、多様な市民が文学によるまちづくりに参画する機会を創出する。
- 韓国・富川(プチョン)市やアメリカ・サンノゼ市などの友好交流都市との連携を図り、相互交流を通じて文学によるまちづくりの可能性を追求する。
- ユネスコ創造都市ネットワークへの加盟申請を検討する。

「ユネスコ創造都市ネットワーク」とは

◇概要

創造性を核とした都市間の国際的な連携によって、地域の創造産業の発展を図り、都市の持続可能な開発を目指すもの。

各都市は同ネットワークを活用し、知識・経験の交流、人材育成、プログラム協力を行う。
平成 16 年(2004 年)創設。

※7 分野で世界の 295 都市が加盟 (R3 年 11 月時点)

◇加盟手続

2 年に 1 度募集 ※次回は令和 5 年度

日本ユネスコ国内委員会に申請→承諾→ユネスコ事務局へ申請→評価→加盟

◇登録分野 ※カッコ内は都市数

文学(42)、デザイン(43)、クラフト&フォークアート(59)、メディアアート(22)、音楽(59)、食文化(49)、映画(21)

日本では 10 都市が加盟 (加盟年)

文 学：なし

デ ザ イ ン：神戸市 (H20)、名古屋市 (H20)、旭川市 (H31)

ク ラ フ ト & フ ォ ー ク ア ー ト：金沢市 (H21)、篠山市 (H27)

メ デ ィ ア ア ー ト：札幌市 (H25)

音 楽：浜松市 (H26)

食 文 化：鶴岡市 (H26)、臼杵市 (R3)

映 画：山形市 (H29)

◇加盟都市の活動

ネットワークを活用した知識・経験の交流、人材育成、プログラム協力を実施

例

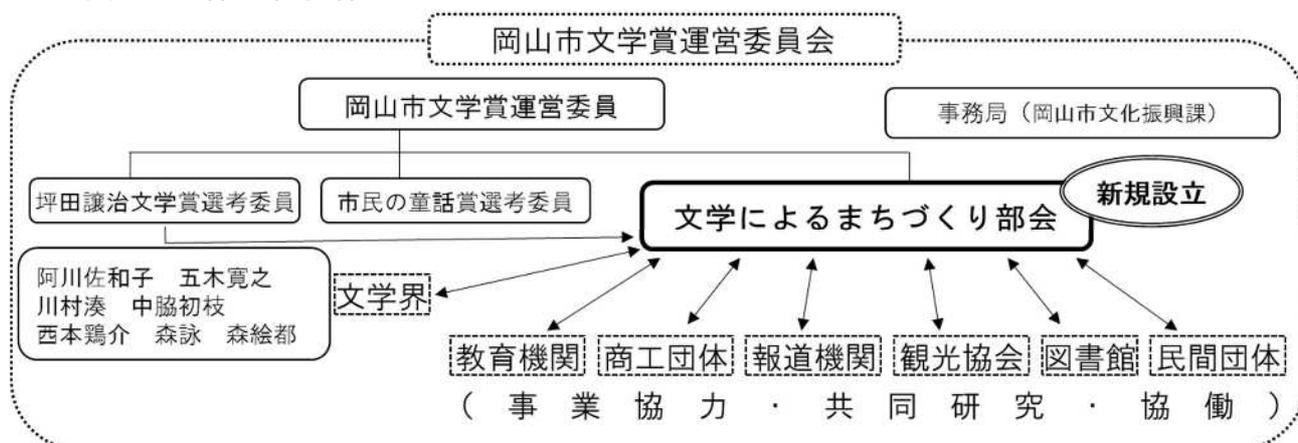
- ユネスコ創造都市ネットワーク会議等への参加による優良事例の共有
- 登録分野に係る国際フォーラム／展示会への参加又は開催
- 作家・関係者の相互派遣を通じた交流や人材育成
- 地域産業・観光・教育・福祉など他分野と結びついた事業の実施

文学によるまちづくりの更なる推進に向けた組織の設立について

このたび、令和4年3月に提出された「『文学による心豊かなまちづくり』の更なる推進に向けた提言書」の内容を実現するための組織を立ち上げることとし、文学分野でユネスコ創造都市ネットワークへの加盟申請を目指します。

これまでの文学に関する施策と連携していくため、既存の「岡山市文学賞運営委員会」の中の新たな部会とし、発起人団体及び関係機関から広くご協力をいただきながら進めて参ります。

◇文学振興に係る組織体イメージ



- 部会は発起人団体及び関係機関で構成
- 坪田譲治文学賞選考委員の作家がアドバイザーとして参加
- 年間2～4回会議を行い、事業を検討・実施
- 令和4年度事業は国際交流、福祉事業、講演会等開催など

◇今後のスケジュール

R4年3月	提言書 提出
R4年4～5月	文学振興に係る組織体設立
R4年7月以降	講演会等の事業実施
R5年5月	国内公募申請（国内選考通過後、ユネスコ本部へ申請）
R5年11月	最終審査結果通知

◇提言の内容（部会の目的）

1. 文学分野での歴史や先人の作品や坪田文学賞をはじめとした連綿と続く取組等の地域資源を活用し、「文学による心豊かなまちづくり」施策を一段と充実させること。
2. 国内外の他都市と連携して文化の交流を促進するとともに、「文化創造都市 岡山」の発信力強化を図ること。
3. その施策を検討・実行する組織体を整備し、産官学一体となった事業推進を行うこと。

文学によるまちづくり部会員名簿

(敬称略 50音順)

	氏名	組織・備考
1	明石 英嗣	吉備路文学館館長
2	岡崎 秀穂	上南公民館館長
3	岡田 智美	山陽新聞社文化部副部長
4	長田 勝志	株式会社 オサダ文昭堂 代表取締役社長 日販会 会長
5	黒崎 良子	岡山商工会議所事業部次長
6	河野 広幸	おかやま観光コンベンション協会専務理事
7	篠田 吉央	岡山放送(株)アナウンス室課長
8	高見 京子	市民の童話賞選考委員 全国学校図書館協議会スーパーバイザー
9	西山 康一	岡山大学学術研究院社会文化科学学域准教授
10	根木 慶太郎	瀬戸内ブッククルーズ代表 書店451ブックス
11	村中 李衣	坪田譲治文学賞受賞作家、市民の童話賞選考委員 ノートルダム清心女子大学教授
12	矢納 郁子	西大寺緑花公園緑の図書室室長 司書
13	山川 隆之	吉備人出版 代表・編集者 市文化奨励賞受賞者
14	山根 知子	市文学賞運営委員 ノートルダム清心女子大学教授
※アドバイザー(坪田譲治文学賞選考委員会)		
阿川佐和子 五木寛之 川村湊 中脇初枝 西本鶏介 森詠 森絵都		